

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大	事業	001	文化振興事業	中	事業	01	文化振興事業		
小	事業							他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		文化課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	文化芸術基本法			
根拠例規	有	坂井市全国文化芸術大会出場激励金支給要綱ほか			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
文化芸術分野の全国大会以上に出場する市民に対し、大会での活躍を激励するとともに激励金を支給し、本市の文化芸術の向上を図る。また、市民が主体となって活動する「坂井市文化未来会議」を開催し、幅広く市民の意見を求め、市の文化施策推進を図る。

【事業の概要】

○報償費		319千円
	全国大会等出場激励金	310千円
	協力者謝礼（視察研修）	9千円
○需用費		600千円
	消耗品費（事務用品）	3千円
	食糧費（会議用お茶）	4千円
	光熱水費（春江陶芸工房：電気料）	173千円
	修繕料（青空ギャラリー作品看板修繕）	420千円
○役務費	春江陶芸工房火災保険料	5千円
○委託料	旅行業務委託料（文化未来会議視察研修）	350千円
○工事請負費	建物解体工事費（春江陶芸工房）	896千円
○備品購入費	展示用備品購入費（文化祭展示用パネル他）	3,275千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	5,445	1,311	2,338	4,134
	人件費	4,344	6,847	3,554	△ 2,503
	総事業費	9,789	8,158	5,892	1,631
人員	正職員	0.62 人	1.02 人	0.50 人	△ 0.40 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.62 人	1.02 人	0.50 人	△ 0.40 人
財源内訳	国県支出金	0	0	857	0
	その他特定財源	53	60	40	△ 7
	一般財源	9,736	8,098	4,995	1,638

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	全国大会出場者数	人	目標	50	40	40	30	30
			実績			50	36	30
			達成率(%)	0.0	0.0	125.0	120.0	100.0
指標の説明		年度内に申請のあった全国大会出場者数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	年々、個人での全国出場者は増加傾向にあり、今後も継続した周知に努めていきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	文化未来会議では様々な分野の代表者より、市の文化振興に対して活発な協議をいただいておりますが、すぐに改善できるものばかりではないため、中長期的な視点で取り組んでいきます。激励金支給においては、支給要綱・その他（教育委員会が認めるもの）に該当する申請が増える傾向にあり、その都度、協議を行っています。
これまでの見直しや改善等の実績	文化未来会議での意見をもとに、指定管理者への助言も行いながら振興策に取り組んでいます。激励金の支給に対しては、国内のみならず国際規模の大会に出場するケースも出てきているため、要綱を見直し、国際規模大会も対象としました。	

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	継続
目標年度			目標年度	
方向性の説明	激励金の支給対象者が増加傾向にあるなか、市の文化振興を図るため、適正な激励金の予算化を図っていきます。			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	基本施策			
実施事業名（小事業）				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業			中事業	06	文化団体補助事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興			文化課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進			
	施策	1-1	シティーセールスの強化			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）		
根拠法令	有	文化芸術基本法				
根拠例規	有	教育委員会文化課所管補助金等交付要綱				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
地域性豊かな伝統文化の継承と文化活動の振興を図ることを目的に、（公財）丸岡文化財団及び坂井市文化協会の実施する文化活動事業を支援する。

【事業の概要】

○補助金 44,788千円  
丸岡文化財団運営補助金 42,692千円  
坂井市文化協会事業補助金 2,096千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>■一筆啓上PRの拡充（中高生に、地域の魅力を再発見し、地域活性化の担い手となってもらうことを目的に実施する）</li> <li>■一筆啓上PRツアー</li> <li>■一筆啓上賞</li> </ul>
----------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	44,788	29,863	21,989	14,925
	人件費	2,102	3,021	1,493	△ 919
	総事業費	46,890	32,884	23,482	14,006
人員	正職員	0.30 人	0.45 人	0.21 人	△ 0.15 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.30 人	0.45 人	0.21 人	△ 0.15 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	78	0	△ 78
	一般財源	46,890	32,806	23,482	14,084

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
独自指標	文化協会会員数	任	目標	2,400	2,400	2,600	2,800	3,000
			実績			2,339	2,588	2,609
		達成率(%)	0.0	0.0	90.0	92.4	87.0	
指標の説明		加入活動による坂井市文化協会の会員数						
独自指標	文化協会活動事業数	件	目標	100	100	100	100	130
			実績			86	81	88
		達成率(%)	0.0	0.0	86.0	81.0	67.7	
指標の説明		坂井市文化協会が行う主催・共催・後援事業等の件数						
独自指標	一筆啓上賞応募総数	通	目標					
			実績			38,182	44,348	27,657
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明		丸岡文化財団が行う主要への参加数						
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	文化協会の会員数が年々減少するなか、大人から子どもまで幅広く文化活動に参加できる企画運営を担い、市の文化振興に大いに貢献しています。一筆啓上賞は、節目となる25回目を迎えたことを機に、さらなる応募者数の増に取り組んでいきます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			高齢化に伴う文化協会の会員数が減少するなか、団体の自助努力による市の文化振興に対する貢献度は大きいものと思われます。また、丸岡文化財団が行う一筆啓上賞事業もPR活動により全国的に広がっているなか、応募者増に向けた事業展開も必要です。
これまでの見直しや改善等の実績	助成事業や企業への協賛金を求める等、自助努力による収入策に取り組んでいます。			

6.今後の方向性

短期的な方向性	継続	中長期的な方向性	継続
目標年度		目標年度	
方向性の説明	各団体の取り組みに指導・助言等を行いながら支援するとともに、指定管理者の人件費補助において、適正な市の財政運用に努めていきます。		

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-1	シティーセールスの強化
	基本施策	1-1	シビックプライドの醸成と周知活動			
実施事業名(小事業)	文化団体補助事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> <li>一筆啓上賞事業は、市を代表するイベントという位置づけに発展し、その企画運営を担う(公財)丸岡文化財団の核となる事業として市の支援は必要であると思います。</li> <li>テーマによる応募数の増減はあると思われますが、より多くの応募者数の増に向けて、財団のPRに市も協働しながら事業を進めていくことが課題であると思います。</li> </ul>					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大	事業	001	文化振興事業	中	事業	11	文化活動支援事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		文化課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	文化芸術基本法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会や発表する場を提供することにより、地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進する。

【事業の概要】

- 委託料 39,797千円
  - 文化祭業務委託料（坂井市民文化祭実行委員会） 4,997千円
  - 公演業務委託料（（公財）坂井市文化振興事業団：23事業） 34,000千円
  - 市民文化創造企画支援事業委託料（（公財）坂井市文化振興事業団） 800千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	39,797	39,199	38,195	598
	人件費	2,523	3,759	2,275	△ 1,236
	総事業費	42,320	42,958	40,470	△ 638
人員	正職員	0.36 人	0.56 人	0.32 人	△ 0.20 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.36 人	0.56 人	0.32 人	△ 0.20 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	392	0	△ 392
	一般財源	42,320	42,566	40,470	△ 246

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
独自指標	文化祭来場者数	人	目標	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績			10,257	12,098	12,473
			達成率(%)	0.0	0.0	102.6	121.0	124.7
指標の説明								
独自指標	公演事業入場率	%	目標					
			実績			81	67	78
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明		入場者数/設定席数（企画によって設定席数が異なり実績値のみ）						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	各団体の周知・広報活動により、一定の目標はほぼ達成できていると考えますが、今後も継続した自助努力は必要であると思われます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	効率性に課題		市民文化祭は1会場で総合開会式を開催後、4地区会場でそれぞれの芸能発表・展示を行っています。公演業務においては、市民のニーズに応じた企画とともに、後継者育成から発表までの市民参加型の事業も行っています。
これまでの見直しや改善等の実績				

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	継続	
目標年度			目標年度		
方向性の説明	各公演内容・規模に見合った文化施設の利活用、入場料・設定席数の設定等に指導を行いながら、市民のニーズに即した公演事業の展開に取り組んでいきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
実施事業名(小事業)	基本施策					
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	001	文化振興事業			中事業	21	一筆啓上手紙の館管理運営事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	<p>■一筆啓上PRの拡充 (中高生に、地域の魅力を再発見し、地域活性化の担い手となってもらうことを目的に実施する)</p>
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管 部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興			文化課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進			
	施策	1-1	シティーセールスの強化			
事業区分	自治事務 (任意的なもの)		事業種別	指定管理事業		
根拠法令	有	文化芸術基本法				
根拠例規	有	坂井市一筆啓上日本一短い手紙の館条例、同条例施行規則				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	13,596	21,710	26,222	△ 8,114
	人件費	2,943	2,819	2,844	124
	総事業費	16,539	24,529	29,066	△ 7,990
人員	正職員	0.42 人	0.42 人	0.40 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.42 人	0.42 人	0.40 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	1,282	1,282	△ 1,282
	一般財源	16,539	23,247	27,784	△ 6,708

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
「手紙の館」の管理運営を担う(公財)丸岡文化財団は、一筆啓上賞の作品を始めとする手紙にまつわる企画等を展開し、丸岡城と連携した文化と観光の充実を図る。

【事業の概要】

○報償費	運営審議会委員謝礼 (3名)	45千円
○役務費	手紙の館火災保険料	108千円
○委託料	事業運営委託料 (丸岡文化財団)	13,443千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	手紙の館入館者数	人	目標	50,000	50,000	15,000	15,000	20,000
			実績			47,027	21,394	12,433
			達成率(%)	0.0	0.0	313.5	142.6	62.2
指標の説明		PR活動等による入館者数						
指標	企画・展示事業等の開催数	件	目標	24	24	24	24	16
			実績			25	29	16
			達成率(%)	0.0	0.0	104.2	120.8	100.0
指標の説明		丸岡文化財団が行う企画・展示事業等の件数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	29年度より丸岡城との共通入場券を導入し、入館者増に向けた取り組みを図っています。また、毎月の「ふみの日企画」の手法を凝らす等の必要もあると思われます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題			丸岡城との共通入場券導入により、入館者数は増加傾向にあることから、引き続き丸岡城と一体化した観光客誘客に努めていきます。
これまでの見直しや改善等の実績	運営審議会での意見も踏まえながら、誘導案内板の設置や丸岡城への観光バス駐車場の移設（当館裏）、丸岡城との共通入場券導入等に取り組みました。			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	観光バスでの誘客を図る方策や、丸岡城と一体化した入館者増への仕掛けを指定管理者とともに検討していきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-1	シティーセールスの強化
	基本施策	1-1	シビックプライドの醸成と周知活動			
実施事業名(小事業)	一筆啓上手紙の館管理運営事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> <li>一筆啓上賞事業は、市を代表するイベントという位置づけに発展し、その企画運営を担う（公財）丸岡文化財団の核となる事業として市の支援は必要であると思います。</li> <li>入館者数の増に向けて、まずは当館独自のPRは不可欠ですが、市も協働しながらPRしていくことも必要だと思えます。</li> <li>丸岡城との共通入場券導入により、手紙の館自体の入館者数は増加しましたが、観光バスの場合は立ち寄る程度で滞在時間は短く、ゆっくり時間をかけて見てもらえるような魅力ある仕掛けも課題であると思います。</li> </ul>					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	文化振興費
大事業	051	文化施設管理運営事業			中事業	02	文化の森・文化未来館管理運営事業		
小事業	01	文化の森・文化未来館管理運営事業			02	省エネ対策事業		他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興			文化課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	指定管理事業		
根拠法令	有	地方自治法				
根拠例規	有	坂井市文化の森・YURI文化情報交流館条例、みくに文化未来館条例ほか				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
文化施設の適切な維持管理を行うとともに、市民の文化活動の振興と、文化的資質の向上を図る。

◆文化の森・文化未来館管理運営事業	本庁	115,869千円
○需用費		4,389千円
消耗品費（大会行事用消耗品）		108千円
印刷製本費（パンフレット・封筒印刷）		1,396千円
修繕料（施設修繕料）		2,885千円
○役務費		168千円
リサイクル手数料他		9千円
ハートピア春江・みくに文化未来館火災保険料		159千円
○委託料		107,492千円
みくに市民センター清掃委託料		1,868千円
みくに文化未来館備品配送委託料		621千円
指定管理者委託料（(公財)坂井市文化振興事業団）		105,003千円
○使用料及び賃借料	文化の森敷地借上料(18,875㎡)	3,820千円
◆省エネ対策事業	本庁	149千円
○使用料及び賃借料	デマンド監視システム使用料	149千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	
----------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	116,018	120,973	119,616	△ 4,955
	人件費	4,274	6,042	3,199	△ 1,768
	総事業費	120,292	127,015	122,815	△ 6,723
人員	正職員	0.61 人	0.90 人	0.45 人	△ 0.29 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.61 人	0.90 人	0.45 人	△ 0.29 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	791	0	500	791
	一般財源	119,501	127,015	122,315	△ 7,514

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	ハートピア春江入館者数	人	目標	108,000	108,000	110,300	110,000	113,100
			実績			108,810	113,573	111,126
			達成率(%)	0.0	0.0	98.6	103.2	98.3
指標の説明								
指標	みくに市民センター入館者数	人	目標	18,000	18,000	7,000		
			実績			12,805		
			達成率(%)	0.0	0.0	182.9	0.0	0.0
指標の説明								
指標	みくに文化未来館入館者数	人	目標			7,750	15,000	41,000
			実績			18,844	146,597	67,435
			達成率(%)	0.0	0.0	243.1	977.3	164.5
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								

指標に基づく評価  
ハートピア春江は、大雪によるキャンセル等の影響により、利用者数は前年度比減となりました。みくに文化未来館は、ホール移転に伴う閉館イベント、市民センターは開館記念イベントなど例年より企画も多く貸館利用も増えたため目標値を上回りました。今後も市民に優れた文化芸術を鑑賞する機会の提供や市民の文化の裾野が広がる事業の展開を求めています。

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 両館とも施設を運営する人員は最小で行っており、これ以上の効率化は業務を行う上で支障が出ると考えられます。また、市民育成型事業や参加型事業など、採算性のない事業も行わなくてはならず、現状の指定管理者のような半官半民の形態を持つ事業者による事業委託することが望ましいと考えます。
これまでの見直しや改善等の実績	受益者負担適正化への見直しについては、坂井市みくに市民センターの建設に伴い、他市の文化施設の状況も鑑みて見直しを行いました。

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	継続
目標年度			目標年度	
方向性の説明	平成29年11月に坂井市みくに文化未来館の文化ホール機能を市民センター（みくに未来ホール）へ移転しました。ハートピア春江についても、耐震改修とともに大規模改修を予定しています。			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
実施事業名（小事業）	基本施策					
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	001	文化財保護審議会運営事業			中事業	02	文化財保護審議会運営事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管 部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興			文化課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有	文化財保護法				
根拠例規	有	坂井市文化財保護条例、坂井市文化財保護審議会規則				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画				

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	189	187	188	2
	人件費	3,924	3,759	5,181	165
	総事業費	4,113	3,946	5,369	167
人員	正職員	0.56 人	0.56 人	0.77 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.10 人	0.00 人
	人員計	0.56 人	0.56 人	0.87 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	4,113	3,946	5,369	167

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
新たな文化財の指定や解除に関する諮問や、市の文化財保護施策に関する討議などを通して、文化財の保護を図る。

【事業の概要】

○報酬	文化財保護審議会委員報酬（8名）	184千円
○旅費	文化財保護審議会委員費用弁償	1千円
○需用費	食糧費（文化財保護審議会お茶代）	4千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	会議開催数	回	目標	3	3	3	2	2
			実績			3	2	3
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	150.0
指標の説明								
指標	処理議案数	件	目標	4	4	4	4	2
			実績			6	6	2
			達成率(%)	0.0	0.0	150.0	150.0	100.0
指標の説明								
指標	会議1回当り議案処理件数	件	目標	2	2	2	2	2
			実績			2	3	1
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	150.0	50.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価		文化財指定の案件が増えているため、会議の開催は今後も継続していきます。						

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
文化財保護に関する審議は非営利的な面も多くあり、民間ではなく行政が行うのが妥当です。効率化については、審議内容をさらに精査することでより充実した審議会になると考えます。また、専門性の高い会議のため、他の統合等は難しいが、その内容を市民に還元するなどの作業の中で、他の関連事業に絡めることができる可能性があります。			
これまでの見直しや改善等の実績	指定・登録文化財について候補の審議を引き続き行うほか、年間計画等についても助言をもらいます。		

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	継続
目標年度			目標年度	
方向性の説明	今後も調査を継続し、適宜指定や登録への審議・調査を行います。指定に関しては、多くの有識者に調査指導を受けられる環境を整えるとともに、活用についても今後審議していきます。			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業			中事業	01	文化財保存管理事業		
小事業	01	文化財保存管理事業			02	日本遺産推進事業		他 事業	

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興			文化課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進			
	施策	1-1	シティーセールスの強化			
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有	文化財保護法				
根拠例規	有	坂井市文化財保護条例、教育委員会文化課所管補助金等交付要綱				
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
文化財の保存管理に必要な措置を講じ、貴重な文化財を後世に伝えるため、広く市民への公開や活用を通して、文化財保護意識の啓発を行う。

【事業の概要】

◆文化財保存管理事業 本庁	6,118千円
○報償費（有識者謝礼・文化財管理奨励金）	660千円
○旅費（費用弁償、特別旅費）	291千円
○需用費（消耗品費・印刷製本費 他）	635千円
○役務費（カモシカ処理手数料・火災保険料）	84千円
○委託料	2,099千円
文化財管理委託料（古墳公園等清掃、草刈など）	1,613千円
燻蒸委託料（丸岡歴史民俗資料館）	486千円
○材料及び賃借料（土地借上料146千円・パソコンリース料67千円）	213千円
○工事請負費 文化財看板設置工事（三国神社外2件）	455千円
○原材料費 鋳造体験用原材料	24千円
○備品購入費 教材用備品購入費（鋳造体験用シリコン型）	65千円
○負担金 全史協北信越地区協議会負担金外3件	89千円
○補助金	1,503千円
市指定無形文化財保存活動事業費補助金	680千円
指定文化財保存事業費補助金	823千円
◆日本遺産推進事業	637千円
○旅費 特別旅費	102千円
○負担金	535千円
北前船日本遺産推進協議会負担金	500千円
大会参加負担金（北前船寄港地フォーラム）	35千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<p>■無形民俗文化財等広域PR （先人から代々継承されてきた古き良き芸能を広域的にPRし坂井市へ誘導する。地域の良さの再認識と情報発信により多くの人々が訪れる賑わいのある地域を目指す）</p>
----------	---

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	6,755	4,252	16,893	2,503
	人件費	10,581	8,458	6,754	2,123
	総事業費	17,336	12,710	23,647	4,626
人員	正職員	1.51 人	1.26 人	0.95 人	0.25 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.51 人	1.26 人	0.95 人	0.25 人
財源内訳	国県支出金	117	117	117	0
	その他特定財源	17	548	0	△ 531
	一般財源	17,202	12,045	23,530	5,157

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
独自指標	文化財補助金支出件数	件	目標	11	11	11	12	11
			実績			13	11	13
		達成率(%)	0.0	0.0	118.2	91.7	118.2	
指標の説明		年度に実施した文化財の補助事業の件数						
独自指標	文化財の新規指定件数	件	目標	2	2	2	2	1
			実績			2	1	2
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	50.0	200.0	
指標の説明		新たに文化財に指定された件数						
独自指標	体験学習実施件数	件	目標	5	5	5	5	0
			実績			5	5	0
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	
指標の説明		年度に実施した体験学習の件数						
独自指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	補助の支出件数については、ある程度安定して実施できていますが、新規指定件数が増える中で、数値が横ばいのままであることは文化財全体に事業効果が行き渡らない可能性があります。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			無形文化財保持団体の活動区切りが年度ではなく、年で活動していることから、団体では年度区切りの補助申請や実績報告を作成する必要があります。年度への変更は、区役員の任期等により難しい現状です。
これまでの見直しや改善等の実績	市内の指定・登録文化財を分かりやすく解説した冊子「坂井市の文化財」の改訂3版を発刊し、周知を図りました。			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成30年度		目標年度	平成34年度	
方向性の説明	平成33年度に、文化財の基本計画となる歴史文化基本構想の策定予定であり、その計画を受けて、文化財の指定推進、文化財の保存修理を進めていきます。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-1	シティーセールスの強化
	基本施策	1-1	地域の魅力つなぎ、つくり、つたえるシティセールスの推進			
実施事業名（小事業）	文化財保存管理事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無形民俗文化財の継承に対しては、地域の魅力を発信する効果を期待することから、各団体に対する市の支援は必要であると思います。</li> <li>・継承に対する後継者問題は深刻であり、その課題を改善していくためには、まずは無形民俗について知ってもらうことが基本にあり、そのための周知活動等を団体と連携しながら広めていくことが課題であると思います。</li> </ul>					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大事業	051	文化財保存事業			中事業	11	埋蔵文化財発掘調査事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興			文化課
総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有	文化財保護法				
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画				

2.事業の目的・概要

**【事業の目的】**  
丸岡城跡の遺構確認の調査を行い保存活用を図る。また開発事業による埋蔵文化財の破壊や滅失を防ぎ、埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るとともに、調査成果を広く公開し、文化財保護意識の向上と啓発を図る。

**【事業の概要】**

- 賃金 丸岡城発掘調査作業員賃金 1,105千円
- 需用費 143千円
- 消耗品費（整理作業用具） 139千円
- 印刷製本費（写真現像焼付代） 4千円
- 委託料 試掘調査掘削委託料 13件 1,046千円
- 使用料及び賃借料 発掘調査機材借上料 115千円
- 工事請負費 六呂瀬山古墳群アクセス園路整備工事 4,957千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	
----------	--

3.事業のコスト

（単位：千円）

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コスト	事業費	7,366	3,973	4,657	3,393
	人件費	13,243	7,988	6,303	5,255
	総事業費	20,609	11,961	10,960	8,648
人員	正職員	1.89 人	1.19 人	0.80 人	0.70 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.30 人	0.00 人
	人員計	1.89 人	1.19 人	1.10 人	0.70 人
財源内訳	国県支出金	1,200	1,000	1,000	200
	その他特定財源	0	57	0	△ 57
	一般財源	19,409	10,904	9,960	8,505

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	発掘届出件数	件	目標	80	80	70	70	60
			実績			52	84	64
			達成率(%)	0.0	0.0	74.3	120.0	106.7
指標の説明								
指標	内容確認遺跡数	件	目標	60	60	50	50	50
			実績			20	64	61
			達成率(%)	0.0	0.0	40.0	128.0	122.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	発掘件数については、新幹線に関連する調査や消費税増税に伴う住宅の駆け込み建築の影響により、ここ数年増えるてくると思われます。							

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			文化庁からの指針や、県の方針等もあり、行政の専門技術者が行うのが妥当です。
これまでの見直しや改善等の実績	市内には埋蔵文化財包蔵地が多くあること、開発行為の際は届出等が必要になることをホームページ等で周知し、市内遺跡の調査成果を公開するなど、市民に還元できるよう努めました。			

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明					

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	09	文化財保護費
大	事業	051	文化財保存事業	中	事業	21	丸岡城関連施設管理運営事業		
小	事業							他 事業	

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合 計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管 部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		文化課
総合 戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	指定管理事業	
根拠法令	有	地方自治法			
根拠例規	有	丸岡城条例、一筆啓上日本一短い手紙の館条例ほか			
関連計画・マニュアル	有	坂井市教育振興基本計画			

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比
コ ス ト	事業費	9,984	10,057		△ 73
	人件費	4,344	3,826		518
	総事業費	14,328	13,883	0	445
人 員	正職員	0.62 人	0.57 人		0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人		0.00 人
	人員計	0.62 人	0.57 人	0.00 人	0.05 人
財 源 内 訳	国県支出金	0	0		0
	その他特定財源	200	0		200
	一般財源	14,128	13,883	0	245

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
丸岡城関連施設を指定管理者に委託し、丸岡城関連施設の円滑かつ現場に即した適切な管理を行い、丸岡城観光の充実と、地域の文化振興を図る。

4. 事業の成果

【事業の概要】

- 役務費 91千円
  - 丸岡城関連施設火災保険料 63千円
  - 丸岡歴史民俗資料館寄託資料損害保険料 28千円
- 委託料 8,518千円
  - 丸岡城関連施設指定管理委託料（(公財)丸岡文化財団） 7,222千円
  - 丸岡城周辺樹木剪定・伐採業務委託料 1,296千円
- 使用料及び賃借料 1,375千円
  - 丸岡城周辺土地借上料

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	丸岡城入場料収入	千円	目標	44,000	44,000	33,300	33,200	30,197
			実績			50,648	42,476	41,887
			達成率(%)	0.0	0.0	152.1	127.9	138.7
指標の説明								
指標	丸岡城入場者数	人	目標	140,000	140,000	150,000	130,000	110,000
			実績			127,624	154,877	153,660
			達成率(%)	0.0	0.0	85.1	119.1	139.7
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								

指標に基づく評価  
利用料収入は、丸岡城の観覧券で歴史民俗資料館と手紙の館に入館可能な3館共通券の販売を開始したことにより、目標値を大きく上回りました。今後も、丸岡城と手紙の館を活かした歴史文化事業を展開していくことで、観光面・文化面での賑わい創出を図れるよう支援していきます。

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	<p>入場者数が北陸新幹線効果が一段落したこと等により前年比減となりました。今後は、リピーターの確保や利用者増加が図られるよう関係機関と連携を密にしながら丸岡城の観光PRを行うよう求めています。</p>
これまでの見直しや改善等の実績	<p>丸岡城の入場料については、丸岡歴史民俗資料館及び一筆啓上日本一短い手紙の館への入場も可能な料金設定に見直し、観光客の城周辺の回遊と賑わい創出を図りました。また、一般財団法人坂井市公共施設等管理公社と公益財団法人丸岡文化財団との合併により、一筆啓上日本一短い手紙の館を含む丸岡城周辺の一体的な管理運営が可能となり、効率的な運営を図ることができました。</p>	

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		
目標年度			目標年度		
方向性の説明					

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ		施策	
	基本施策			
実施事業名(小事業)				
事業で得られたノウハウや気づき等				

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	09	丸岡城周辺整備基金費
大事業	01	丸岡城周辺整備基金			中事業	01	丸岡城周辺整備基金		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-4	歴史・文化・芸術の伝承と振興		文化課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	内部管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		丸岡城周辺整備基金条例		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】  
丸岡城周辺の整備及び丸岡城に関する資料の購入に必要な財源に充てるため、丸岡城周辺整備基金を設置する。

【事業の概要】

丸岡城周辺整備基金に係る運用益等の積立を行います。  
○積立金 6,040千円  
城周辺整備基金積立金 6,000千円  
城周辺整備基金積立金（預金利息） 40千円

平成28年度末 現在高 ①	平成29年度中増減額		平成29年度末 現在高①-②+③
	取崩額 ②	積立額 ③	
198,182千円	13,684千円	6,040千円	190,538千円

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	6,040	8,058	119	△ 2,018
	人件費	420	336	71	84
	総事業費	6,460	8,394	190	△ 1,934
人員	正職員	0.06 人	0.05 人	0.01 人	0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.06 人	0.05 人	0.01 人	0.01 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	40	58	119	△ 18
	一般財源	6,420	8,336	71	△ 1,916

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	年度末基金残高	千円	目標					
			実績			190,538	198,182	190,124
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								

指標に基づく評価  
基金の設置目的を踏まえた運用を図っていきます。

5.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6.今後の方向性

短期的な方向性			中長期的な方向性		
目標年度			目標年度		
方向性の説明	基金管理事業のため、評価しないこととします。				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策		
	基本施策					
実施事業名(小事業)						
事業で得られたノウハウや気づき等						